

下呂市道路ビジョン

～「元気な下呂市」の実現を目指して～



下 呂 市

■道路ビジョン策定の目的

社会経済が大きな転換期を迎えている状況下、道路整備を含む公共事業についても、大幅な見直しが行われようとしています。

「社会基盤整備」から「市民福祉」への転換が常識化されつつある中で、公共事業費の多くを占めている道路事業に関して、歳出削減の観点から投資のあり方が見直されています。

しかしながら、社会基盤整備の象徴として捉えられている道路整備は、人々の暮らしに直結した「生活基盤」としての側面を併せ持っています。すなわち、それは市民の福祉向上に深く関わるものであり、効果的な道路整備は市民にとっても極めて重要で、必要不可欠な施策であると言えます。

下呂市ではこれまで、緊急性や重要性を重視しながら道路整備を進めてきましたが、今後は、より一層計画的で効率的、効果的な整備事業を重点的に行う必要があります。

このような観点から、下呂市における道路整備の方向性を明確にするため、今般、「下呂市道路ビジョン」を策定しました。

今後は、この「下呂市道路ビジョン」にもとづき、計画的に道路整備を推進することで「元気な下呂市」の実現を目指します。

— 下呂市の現況と特性 —

地理・地形

- ・岐阜県の中東部に位置
- ・面積は 851.06 km²で、県土の 8 %を占める
- ・山地斜面は多くが急峻
- ・飛騨川に注ぐ小河川沿いの入り組んだ地形に集落が点在
- ・山間内陸性気候で、年間降水量が比較的多い

経 済

- ・産業就業別人口比
 - 第 1 次産業 6 %
 - 第 2 次産業 3 2 %
 - 第 3 次産業 6 2 %
- ・下呂温泉を中心とした観光産業が地域の基幹産業としての役割を担う
- ・宿泊者数は減少傾向

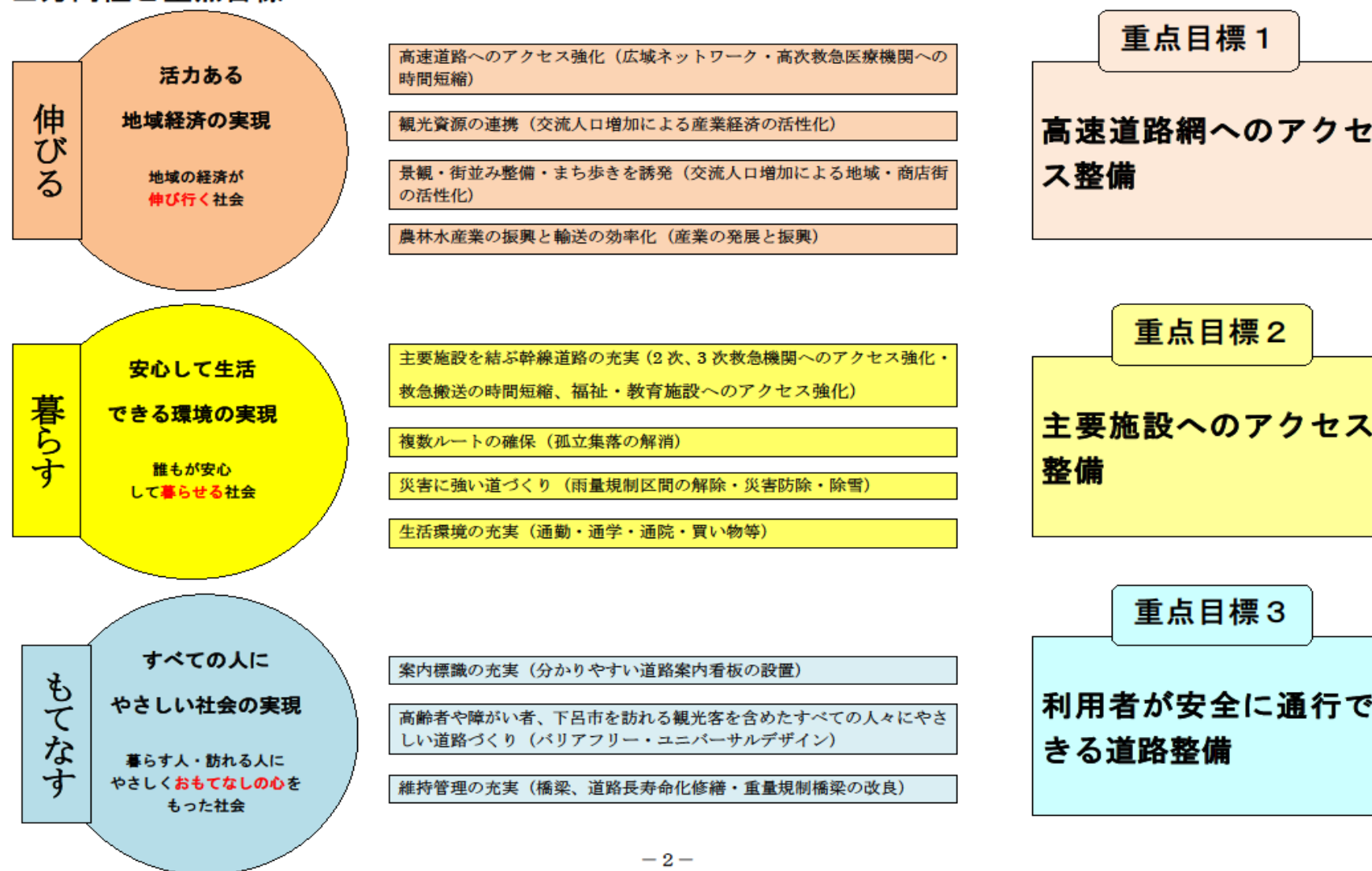
人 口

- ・総人口 37,290 人
- ・世帯数 12,760 戸
(平成 22 年 10 月 1 日時点)
- ・人口・世帯数ともに減少傾向
- ・少子高齢化が進行している
(地区別では小坂、馬瀬、金山地区でその傾向が顕著)

道 路

- ・国道 41 号・256 号・257 号が主要道路
- ・これらを補完する主要地方道 6 路線、一般県道 11 路線
- ・市道路線数 1,416 本
(道路延長 587.6 km)
- ・農道総延長 117.7 km
- ・林道総延長 507.6 km

■方向性と重点目標



■地域の問題点と将来的課題

市全体で少子高齢化、過疎化が進行しているが、周辺地域においては、その傾向が顕著である。

広い面積に集落が点在する下呂市の地域特性も相まって、今後、周辺地域における公共交通の重要性が高まる。

少子化等による学校や保育園統合により遠距離通学児童の数が増え、スクールバスの運行範囲が広がることが予想される。

高齢者や障がい者が増えることで、道路のバリアフリー化など安心して歩ける道路の必要性が高まる。

救急医療機関周辺の市道整備と、重篤患者を高次救急医療機関へ早期搬送するルート確保、高速道路網へのアクセス強化が求められる。

市内の主要交通は国道に依存しているが、大雨などによる通行規制区間や防災危険箇所が多い。

景気の長期低迷や旅行形態の変化等により、宿泊観光客が減少している。「観光客は今、何を求めているのか」を常に正確に把握し対応することが重要である。宿泊観光客数を回復させるための一つとして、高速道路網へのアクセス道路の整備は不可欠である。

観光客の旅行形態が多様化している。また国内旅行者が低迷する中、外国人旅行者（インバウンド）獲得が重要であり、受け入れ態勢を整える必要がある。このような状況を踏まえ、下呂市観光計画の基本理念「ホスピタリティあふれるまちづくり」にもとづき、観光資源の整備や分かりやすい道案内など、きめ細やかな道路整備を行う必要がある。

大型店舗の進出などにより商店の弱体化が懸念される。中心市街地に「賑やかさ」をもたらし、魅力ある商店街とするため、景観に配慮した街並み整備を行う必要がある。

農林産物や加工品などの輸送（物流）の効率化を進めるため、また生活環境の充実を図るため、農道・林道の整備を促進する必要がある。

経年劣化した道路舗装、小規模な橋梁、機能が不十分な側溝等の修繕を計画的に行うなど、適切な維持管理に努める必要がある。

① 主要施設を結ぶ幹線道路の充実

② 災害に強い道路づくり

③ 複数ルートの確保

④ 生活道路（環境）の充実

⑤ 高速道路へのアクセス強化

⑥ 観光資源の連携

⑦ 景観・町並み整備

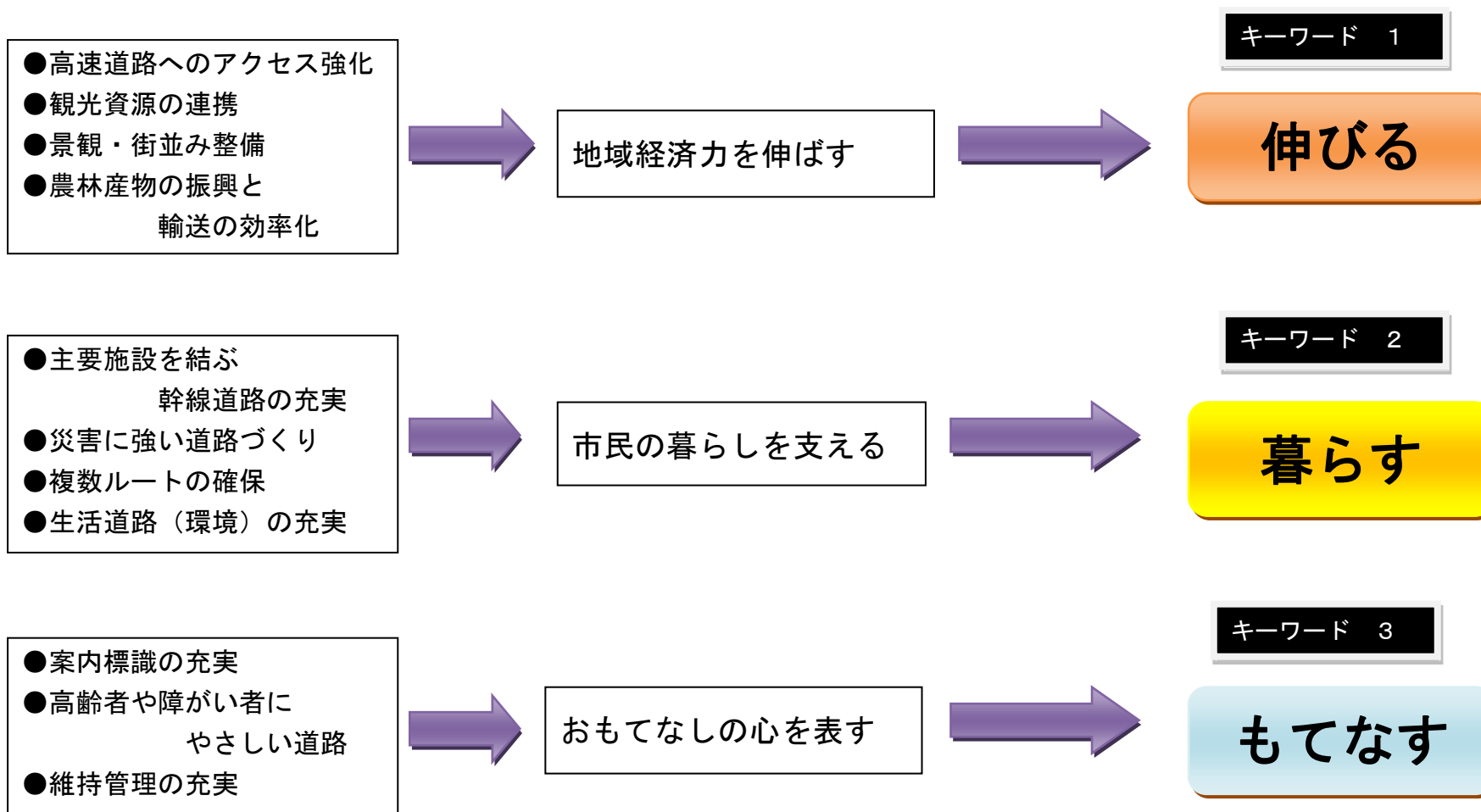
⑧ 農林産物の振興と輸送の効率化

⑨ 案内標識の充実

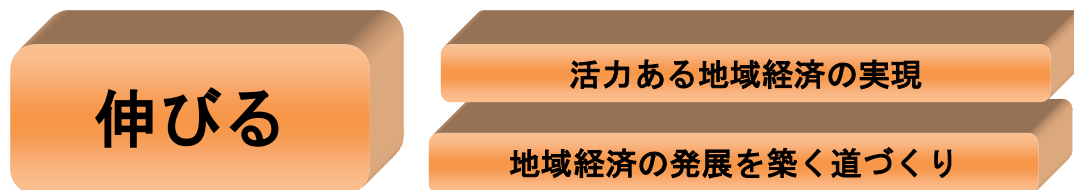
⑩ 高齢者や障がい者にやさしい道路

⑪ 維持管理の充実

■地域の課題から見えてくる3つのキーワード



■道路整備の方向性



●高速道路・高速鉄道駅へのアクセス強化促進

・地域経済の発展を実現するために、交流人口と物流の増加を目指し、各高速道路インターチェンジやリニア駅・北陸新幹線駅へのアクセス路線の強化を促進します。

●観光資源の連携強化

・豊富な観光資源を活かした魅力ある観光ルートの商品化し、多くの観光客が訪れ交流人口の増加と経済の発展を目指す道づくりを進めます。

●景観、街並み整備、まち歩きを誘発

・街づくりや地域の団体などと連携して、観光客の増加や街歩きを誘発する施設の整備を図り、経済の発展を目指す魅力あるまちづくりを支援する道づくりを進めます。

●農林水産業の振興と輸送の効率化

・農林水産物や加工品などの生産や輸送の効率化を進め、農林水産業の発展を促進し地域の活性化を目指す道づくりを進めます。

主な路線・箇所名	主な目的
国道 41 号	高速道路インターへのアクセス時間短縮に向けてのバイパス改良や雨量規制による通行止め解除に向けての道路改良を目指します。
濃飛横断自動車道	高速道路インターへのアクセス時間短縮に向けて整備促進を目指します。
国道 257 号・256 号	高速道路インターへのアクセス時間短縮に向けてのバイパス改良や雨量規制による通行止め解除に向けての道路改良を目指します。
高速道路へのアクセスにつながる市道	高速道路インターへのアクセス時間短縮に向けて狭小区間改良や雨量規制による通行止め解除に向けての道路改良を目指します。
誘客につながる市道（商店街・観光資源エリア）	観光資源へのアクセスの充実やまち歩きを誘発して商店街の活性化につながる道路整備を目指します。
美濃東部農道	高速道路インターへのアクセス時間短縮と複数路線の確保のため、恵那インターと美並インターを結ぶ美濃東部農道の早期開通を目指します。
基幹農道	農産物の早期・安全・安定輸送を確保するため、農道整備を目指します。
基幹林道	木材の輸送、森林振興を図るため、林道整備を目指します。

暮らす

安心して生活できる環境の実現

暮らしを支える道づくり

●主要施設を結ぶ幹線道路の充実

- ・ 1次2次3次救急機関や福祉・教育施設へのアクセス強化と時間短縮をめざして道づくりを進めます。

区 分		病 院
一次救急医療機関	入院治療の必要がなく外来で対応しうる帰宅可能な患者への対応機関	市立休日診療所 (下呂市民会館内)
二次救急医療機関	入院治療を必要とする重症患者に対応する機関	市立金山病院 県立下呂温泉病院
三次救急医療機関	二次救急医療では対応できない複数診療科にわたる特に高度な処置が必要、または重篤な患者への対応機関	高山赤十字病院 岐阜県総合医療センター

●災害に強い道路づくり

- ・ いつでも安全に安心して暮らせる環境の実現のために、降雨、雪、風などの自然環境に対応できる道づくりを進めます。

●複数ルートの確保

- ・ 安全に安心して暮らせる環境の実現のために、災害時など地域が孤立しないように複数ルートの確保を進めます。

●生活環境の充実

・暮らしに密接した、通勤・通学・通院・買い物など日常生活に必要な路線を安全に快適に利用できるような道づくりを進めます。

主な路線・箇所名	主な目的
市内各地区にある国県道	狭小区間の解消や雨量規制による通行止めを解除できるような道路改良を目指します。
救急医療機関周辺市道	病院へのアクセス強化、利便性向上を目指します。
各地区主要市道	安全・快適に利用出来るように、狭小区間の改良・重量制限橋梁の改良を目指します。

もてなす

すべての人にやさしい社会の実現

おもてなしの心をもった道づくり

●案内標識の充実

- ・誰もが迷うことなく安全に目的地に進むことができるような案内看板が整備された道づくりを進めます。

●維持管理の充実

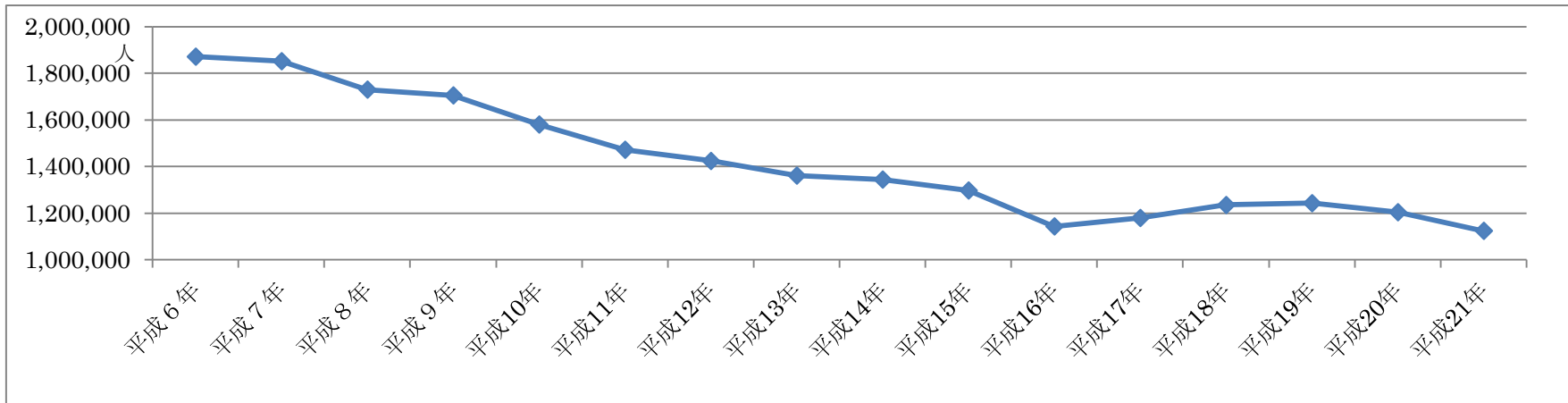
- ・誰もがいつでも快適に利用できるように、維持管理の充実した保全された道づくりを進めます。

●高齢者や障がい者、下呂市を訪れる観光客を含むすべての人々にやさしい道路づくり

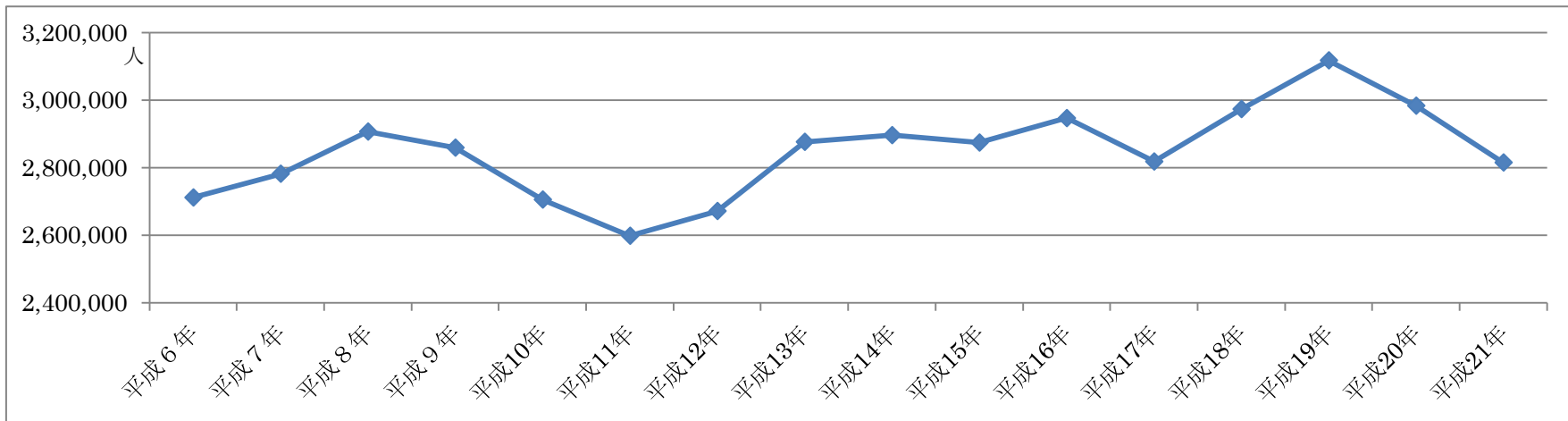
- ・誰もが快適に利用でき使いやすい道づくり（バリアフリー・ユニバーサルデザイン等）を進めます。

主な路線・箇所名	主な目的
多くの人々が利用する市道	すべての人が利用しやすく、地域の景観にあった風情のある道路整備を目指します。
市内すべての道路・橋梁	いつでも、誰でも安心して安全に利用できる道路を長く維持するために、維持管理の充実を目指します。

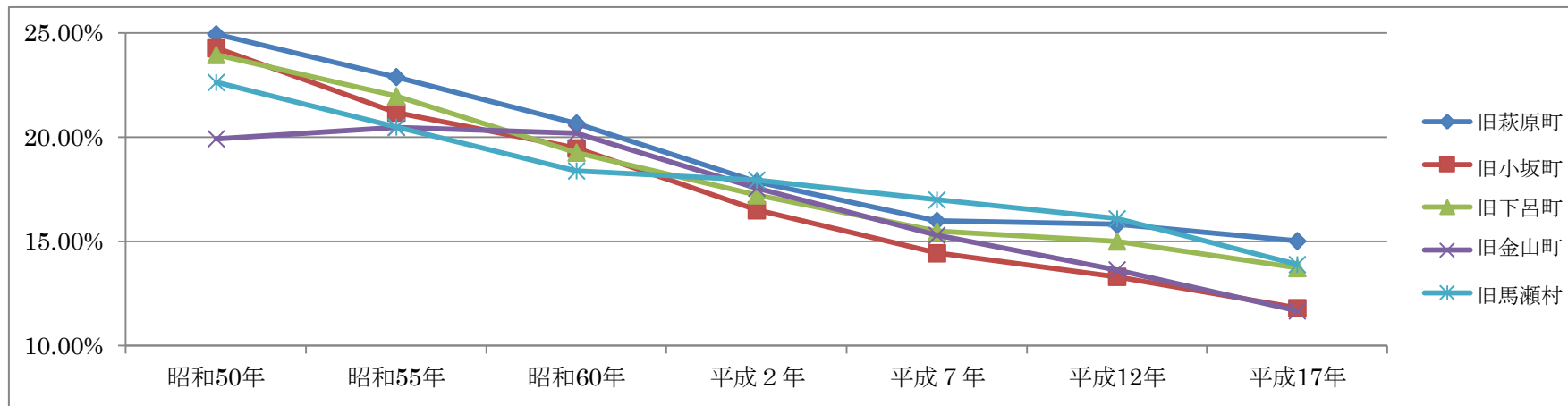
宿泊者数の推移



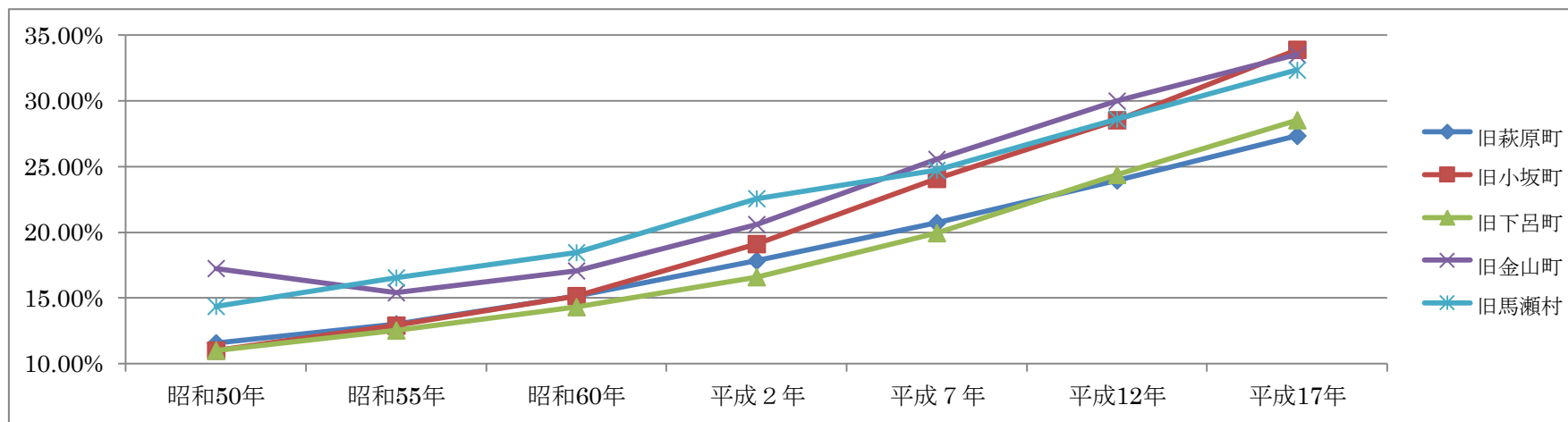
観光客数の推移



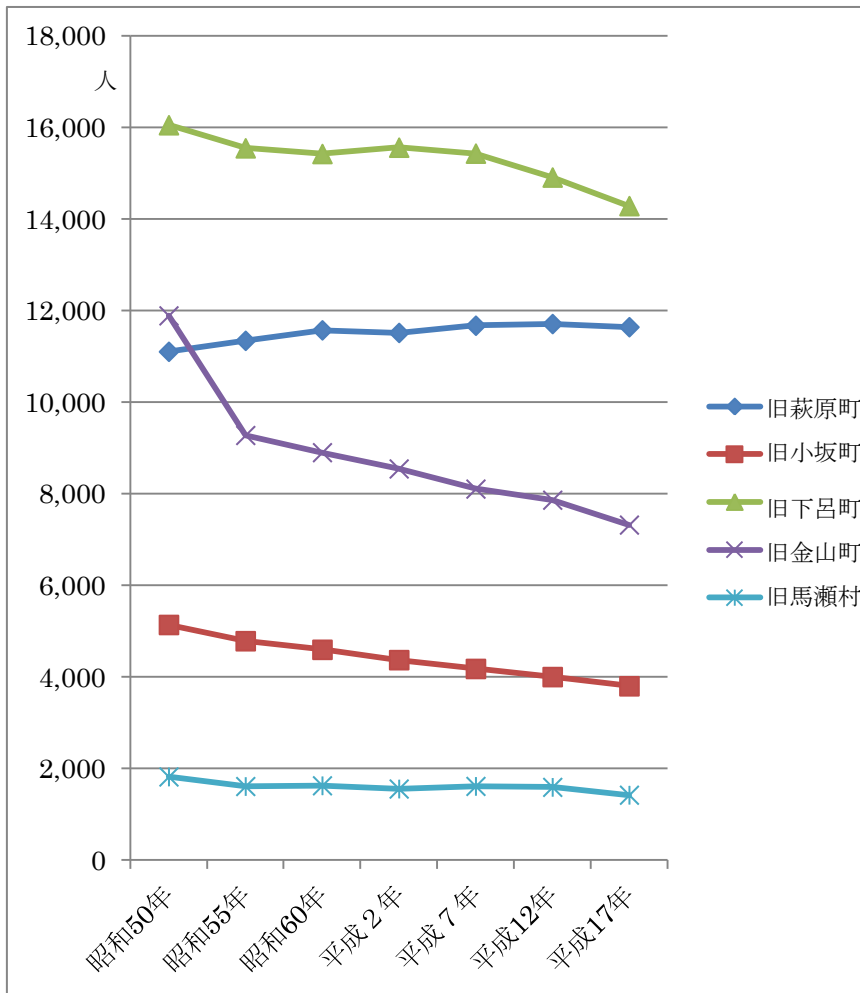
年少人口率（14歳未満）の推移



老年人口率（65歳以上）の推移



地区別人口の推移
(全 体)



地区別人口の推移
(14歳未満)

